

寄り添った看護が提供できるように頑張っています！

Q 1 所属する部署の看護の特徴、業務内容を教えてください。

小児科では新生児～学童期まで幅広い年齢の子が入院してきます。そのため、青年期や成人になるまでの成長過程を学ぶことができます。また、小児科・小児循環器など疾患の分野が広いため、様々な疾患を学ぶことができます。小児では自分で意思決定をすることが困難なため、患児のみではなく、家族も看護の対象となります。そのため、家族の全体像を把握し意思決定ができるように関わっていくことも小児科ならではの特徴です。

Q 2 スキルアップや専門性の向上に向けて取り組んでいることは何ですか。

9階西病棟では、毎月勉強会を開催しています。他部署や他職種の方が講師をしてくれるため、より専門的な内容が学べます。そのため、積極的に参加するようにしています。また、様々な疾患のお子さんが入院してくるため、病態生理～看護まで理解できるよう日々勉強しています。

Q 3 所属する部署における他職種連携について教えてください。

気管切開や胃瘻造設したお子さんは、医療的ケアが必要になります。そのため、医療ソーシャルワーカーが仲介となり、地域の医療機関と連携を取りながら、在宅でも安全に生活ができるようにしています。また、重度の障がいを持ったお子さんも入院してくるため、リハビリの先生と体位調整や排痰ケアの方法などについて日々協働しながらより良い状態になるように取り組んでいます。

